

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】（小学校用）

都道府県名	島根県
-------	-----

学校の概要（平成15年4月現在）

学校名	匹見町立匹見小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	1	1	1	1	1	1	0	6	10
児童数	7	8	10	12	15	12	0	64	

研究の概要

1. 研究主題

確かな学力の向上をめざして ～個に応じた指導を通して分かる喜びをつかむ児童の育成～
--

2. 研究内容与方法

(1) 実施学年・教科

*1～6年生・国語 ・読む力や書く力は学力の基礎能力の一つだととらえ、それに関連する主要教科であるため。 ・児童の実態把握の結果から、読んだり聞いたりする力・考える力・表現する力を育成する必要があると判断し、それに関連する教科であるため。 *1～6年生・算数 ・計算の力は学力の基礎能力の一つだととらえ、それに関連する主要教科であるため。 ・児童の実態把握の結果から、筋道を立てて考える力・表現する力を育成する必要があると判断し、それに関連する教科であるため。 ・児童の理解の状況に個人差が生じやすい教科であるため。
--

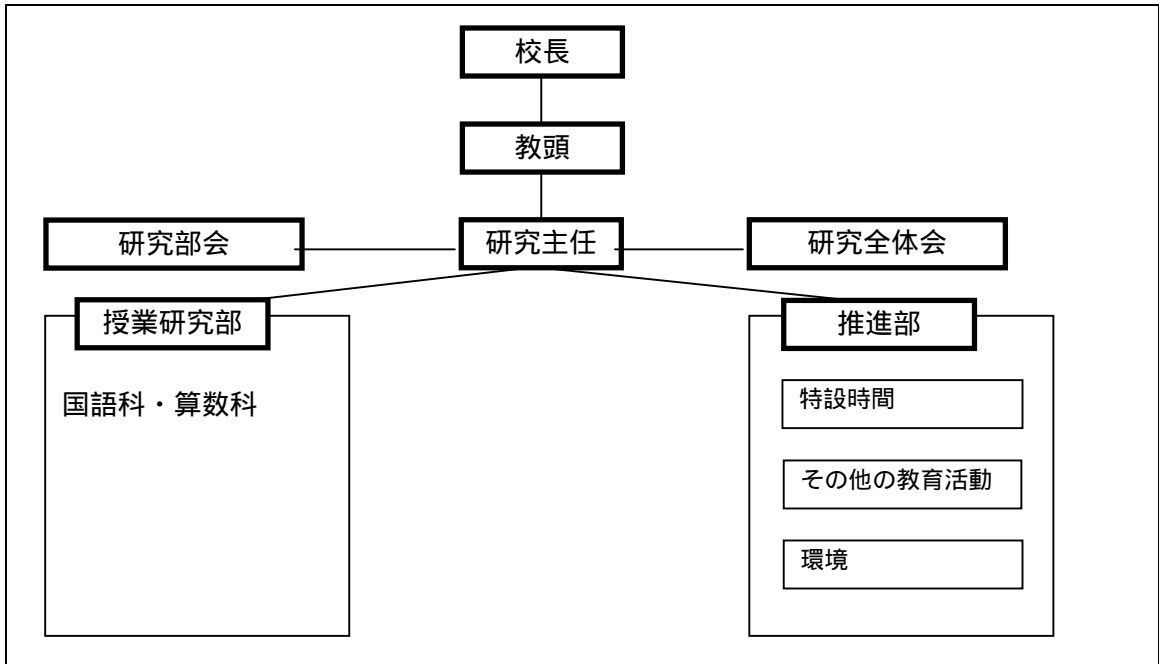
(2) 年次ごとの計画

平成14年度	テーマ 「 確かな学力の向上をめざして ～個に応じた指導を通じた児童の育成～ 」 研究の見通し（仮説） ・個に応じた指導を実践していけば、基礎基本を確実に身につけ、それを基に課題を見つけ、自ら学び、自ら考えることのできる「生きる力」をそなえた児童が育つであろう。 研究の内容・方法 ・評価を生かしたきめ細かな指導の工夫 ・個に応じた指導のための手立て （1）習熟度に応じた学習 （2）スモールステップの工夫 ・学びの機会の充実 （1）ぐんぐんタイム（補充的な学習・月3回） （2）チャレンジタイム（異学年との学習・月1回） （3）読書タイム（週2回） （4）地域の人材（学社融合の取組を生かして）
--------	--

平成 15 年度	<p>テーマ 「 確かな学力の向上をめざして ～個に応じた指導を通して分かる喜びをつかむ児童の育成～」</p> <p>(副題を変更した理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個に応じて指導者が何を追及するかを明らかにしたため。 <p>研究の見通し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小規模校の特色を生かし、授業において児童一人一人の実態を的確に把握しながら、個に応じた指導のための教材開発や指導方法のあり方や評価に基づいた指導のあり方を追求する。その実践を通して、児童の「学習への意欲」「考える力」「表現する力」を育てる。 <p>(研究の見通しを変更した理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の実態を考慮し、個に応じて指導者は何を追及すべきか、そしてどのような児童の育成めざすかを記したため。 <p>研究の内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の質の向上～思考力を育てるため～ <ul style="list-style-type: none"> (1)教材開発 (2)指導法の工夫 ・評価と指導の一体化～分かる喜びに導くため～ <ul style="list-style-type: none"> (1)特設時間(ぐんぐんタイム)の設置・実施 (2)単元指導計画の工夫 ・「伝え合う」活動場の確保～表現力を育てるため～ <ul style="list-style-type: none"> (1)「総合的な学習の時間」でのスキル学習の実施 (2)児童会活動での実践学習の実施 ・教育環境の充実～学習意欲を育てるため～ <ul style="list-style-type: none"> (1)掲示の工夫 (2)読書活動の推進 (3)継続的な計算練習の実施 (4)詩文の暗唱の実施 (5)生活実態調査の実施 <p>(研究の内容・方法を変更した理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年次の反省をもとに、研究の全体構想を練り直したため。
----------------	---

平成 16 年度	<p>テーマ 「 確かな学力の向上をめざして ～個に応じた指導を通して分かる喜びをつかむ児童の育成～」</p> <p>研究の見通し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小規模校の特色を生かし、授業において児童一人一人の実態を的確に把握しながら、個に応じた指導のための教材開発や指導方法のあり方や評価に基づいた指導のあり方を追求する。その実践を通して、児童の「学習への意欲」「考える力」「表現する力」を育てる。 <p>研究の内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の質の向上～思考力を育てるため～ <ul style="list-style-type: none"> (1)教材開発 (2)指導法の工夫 ・評価と指導の一体化～分かる喜びに導くため～ <ul style="list-style-type: none"> (1)特設時間(ぐんぐんタイム)の設置・実施 (2)単元指導計画の工夫 ・「伝え合う」活動の場の確保～表現力を育てるため～ <ul style="list-style-type: none"> (1)「総合的な学習の時間」でのスキル学習の実施 (2)児童会活動での実践学習の実施 ・教育環境の充実～学習意欲を育てるため～ <ul style="list-style-type: none"> (1)掲示の工夫 (2)読書活動の推進 (3)継続的な計算練習の実施 (4)詩文の暗唱の実施 (5)生活実態調査の実施
----------------	--

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

基本パターンに沿って授業を展開させながら、中でも特に、個々の考える力を伸ばすための課題追求場面での対応のあり方を追求しようとする指導者側の意識の統一が図られ、全校体制で研究を進めることができた。

前年度に作成した評価規準表を活用し、理解不十分で指導を要すると判断した児童への指導を、単元指導計画の中に設けた「習熟の実態に応じる時間」や特設時間（ぐんぐんタイム）に行なうというサイクルがほぼ確立された。

授業そのものや学習意欲の向上のために行なっている様々な取り組みに対する児童の意識調査を各単元ごとや学期終了時等に行ない、少人数ながらその数値化をして実践の検証資料に役立てようと考えている。（本年度より実施しているもので、昨年度との比較はできない。）

（例 6年算数2学期単元末の児童自己評価の総括）

質問	回答 (%)	とても	だいた	あまり	ぜんぜん
		よくあてはまる	いいあてはまる	あてはまらない	あてはまらない
この学習がおもしろかったですか。	37.5	58.3	4.17	0	
この学習で、何を勉強していくのかが分かりましたか。	25	66.7	8.33	0	
授業中、まず自分で考えてみようと思いましたか。	58.3	37.5	4.17	0	
授業中、自分の考えや答えをもつことができましたか。	54.2	29.2	16.7	0	
授業中、友達と相談したり友達の発表を聞いたりしてよかったと思いませんか。	66.7	25	8.33	0	
授業中、発表したり話したりしてよかったと思いませんか。	50	33.3	16.7	0	
授業中、進んで手をあげたり発表したりしましたか。	41.7	20.8	33.3	4.2	
授業中、勉強が分かるようになってうれしかったことがありましたか。	70.8	29.2	0	0	
この学習が終わって、新しい力がついたと思いますか。	75	25	0	0	

2. 今後の課題

小規模校という実態を「個に応じた」指導に有効に生かす方策を、授業を通して更に追求する。

学力等把握のための学校としての取組

学力検査（3月に実施予定）
教科指導への児童の自己評価（国語科と算数科の各単元終了時に実施）
各種取り組みへの児童の自己評価（各学期末に実施）
児童の生活調査（月1回・期間は1週間実施）
保護者への意識調査（6月・1月に実施）

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

* 研究会の開催

町内各小・中学校へ授業（3年国語と4年算数）を公開し、授業研究を行なった。
（平成15年10月28日）
・「他校の授業を参観することは大いに刺激になる」という意見をもらった。

益田市・美濃郡学校教育研究会国語部会研修会で授業（5年国語）を公開し、授業研究を行なった。（平成15年12月3日）

益田市・美濃郡内の各小・中学校へ授業（1年算数と5年国語）を公開し、授業研究を行なう予定。（平成16年2月4日）

* 参観日の実施

学力向上フロンティアスクールとしての授業を保護者に公開し、資料を配布したり授業についてのアンケート調査を実施したりした。

* 学校報への取り組みの掲載

* 地域コミュニケーション（匹見町ホームページ）への取り組みの掲載

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。（複数チェック可）

- 【新規校・継続校】 15年度からの新規校 14年度からの継続校
- 【学校規模】 6学級以下 7～12学級
 13～18学級 19～24学級
 25学級以上
- 【指導体制】 少人数指導 T・Tによる指導
 一部教科担任制 その他
- 【研究教科】 国語 社会 算数 理科
 生活 音楽 図画工作 家庭
 体育 その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有 無